



# 平成25年 岐阜県鉱工業指数 (年報)

【平成22年基準】

## 1 概況

生産指数	97.2	前年比2.3%の低下
出荷指数	98.2	前年比2.1%の低下
在庫指数	113.8	前年比0.5%の低下

平成25年1年間の生産指数は、繊維工業、輸送機械工業等が上昇したものの、電気機械工業、化学工業等が低下したため、前年比2.3%の低下となった。

また、出荷指数は、はん用・生産用・業務用機械器具工業、プラスチック製品工業等が低下したため2.1%の低下となり、在庫指数は、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下したため0.5%の低下となった。

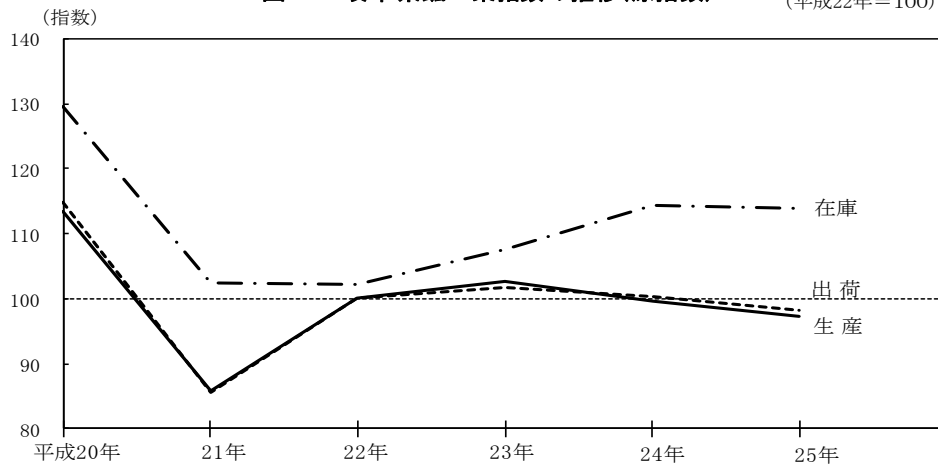
(図-1)

(平成22年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
平成20年	113.5	△ 2.8	114.7	△ 3.5	129.6	0.9
21	85.8	△ 24.4	85.6	△ 25.4	102.5	△ 20.9
22	100.0	16.6	100.0	16.8	102.1	△ 0.4
23	102.6	2.6	101.8	1.8	107.5	5.3
24	99.5	△ 3.0	100.3	△ 1.5	114.4	6.4
25	97.2	△ 2.3	98.2	△ 2.1	113.8	△ 0.5

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

(平成22年=100)



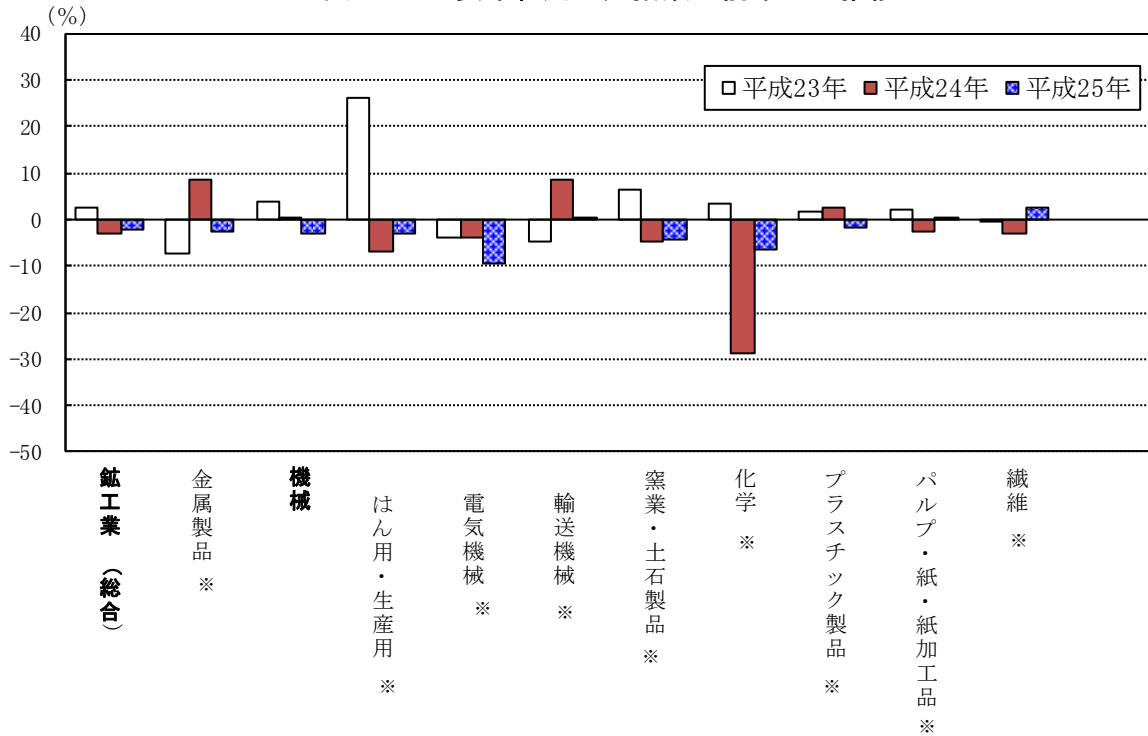
注：年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

## 2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種\*の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、繊維工業（前年比2.2%）、輸送機械工業（同0.3%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同0.2%）の3業種となった。

一方、低下したのは、電気機械工業（同△9.6%）、化学工業（同△6.7%）、窯業・土石製品工業（同△4.3%）、はん用・生産用・業務用機械器具工業（同△3.4%）、金属製品工業（同△2.6%）、プラスチック製品工業（同△1.8%）の6業種となった。（図-2、表-1）

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移



## 3 全国、中部との生産指数の比較

平成25年の全国における生産指数は、前年比0.8%の低下であった。  
また、中部においては1.8%の上昇であった。

(平成22年=100)

区分	岐阜県		全国		中部(※)	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成20年	113.5	△ 2.8	110.7	△ 3.4	110.9	△ 4.6
21	85.8	△ 24.4	86.5	△ 21.9	81.7	△ 26.3
22	100.0	16.6	100.0	15.6	100.0	22.4
23	102.6	2.6	97.2	△ 2.8	96.8	△ 3.2
24	99.5	△ 3.0	97.8	0.6	104.6	8.1
25	97.2	△ 2.3	97.0	△ 0.8	106.5	1.8

※「中部」とは、中部経済産業局管内5県（愛知、三重、石川、富山、岐阜）

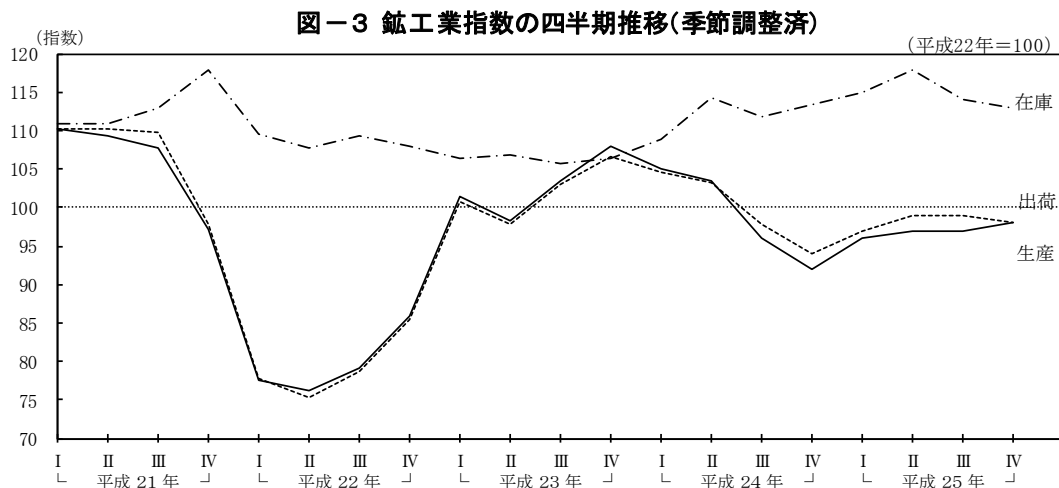
※資料：経済産業省、中部経済産業局

## <平成25年 岐阜県鉱工業指数の詳細について>

### 1 鉱工業指数の四半期推移

平成25年の生産指数を四半期ごとにみると、生産指数、出荷指数とも全ての四半期において前期比より上昇となった。

また、在庫指数は全ての四半期において前期比より低下となった。(図-3、表-2)

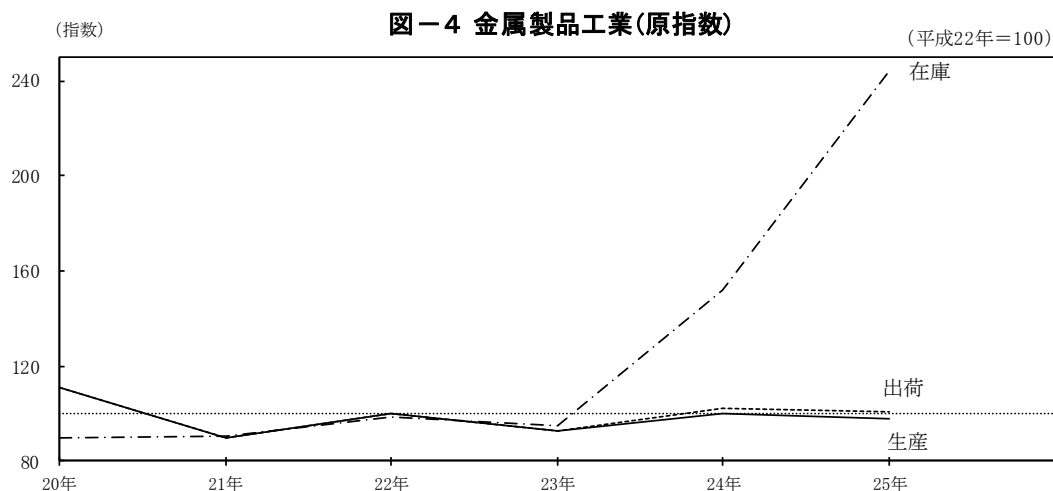


### 2 主要業種別指数の動向

#### (1) 金属製品工業

- ・生産指数は、作業工具、管継手等が増加したものの、ボルト・ナット、アルミサッシ等が減少したため、前年比2.6%の低下となった。
- ・出荷指数は、ボルト・ナット、アルミサッシ等が低下したため、前年比1.5%の低下となった。
- ・在庫指数は、アルミサッシ、アルミドア等が増加したため、前年比60.6%の上昇となった。

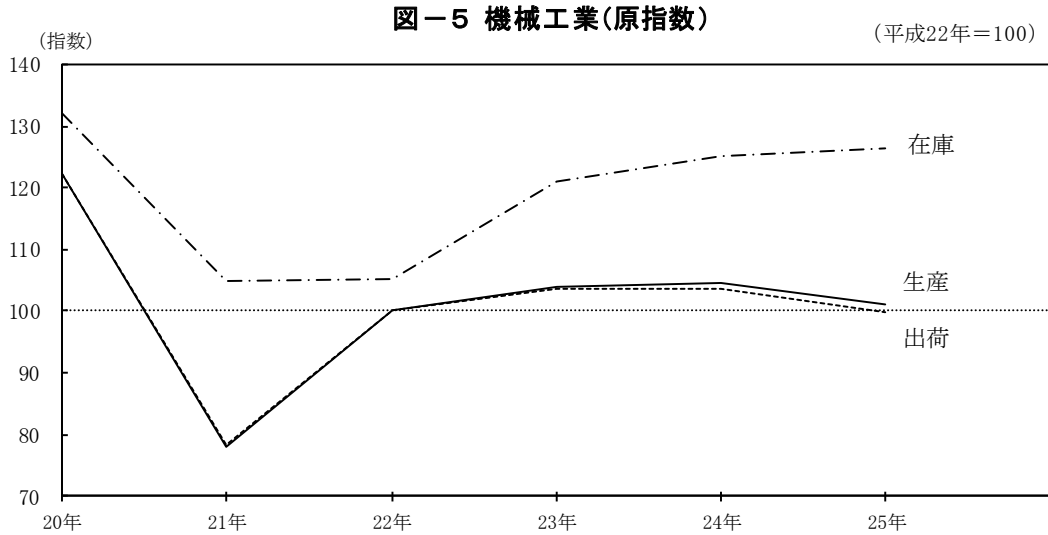
(図-4、表-1)



## (2) 機械工業

- ・生産指数は、輸送機械工業が上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械器具工業、電気機械工業が低下したため、前年比3.2%の低下となった。
- ・出荷指数は、前年比3.6%の低下となった。
- ・在庫指数は、前年比1.1%の上昇となった。

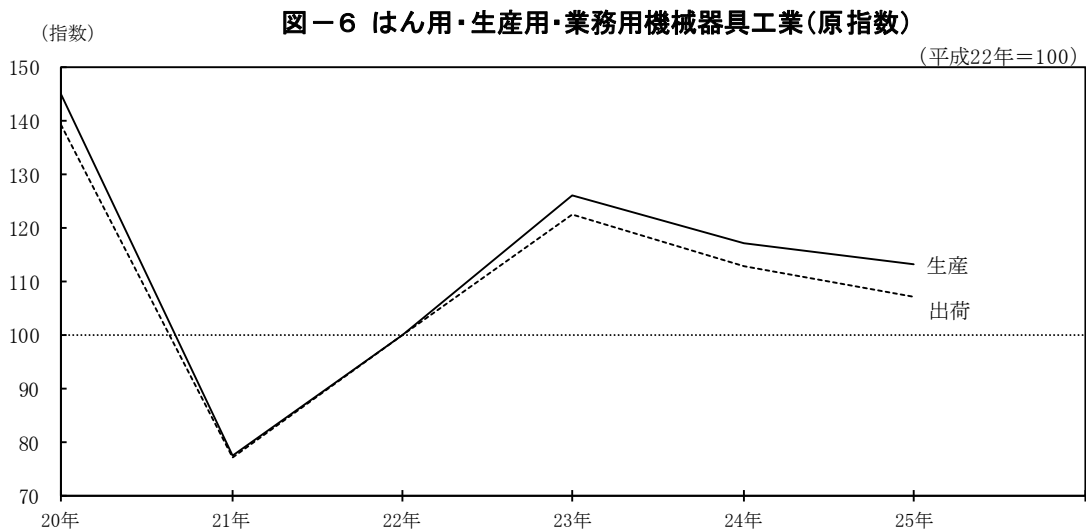
(図-5、表-1)



### (2) -ア はん用・生産用・業務用機械器具工業

- ・生産指数は、ショベル系掘削機(0.2m<sup>3</sup>未満)、金型等が増加したものの、油圧機器、旋盤等が減少したため、前年比3.4%の低下となった。
- ・出荷指数は、油圧機器、旋盤等が減少したため、前年比5.0%の低下となった。

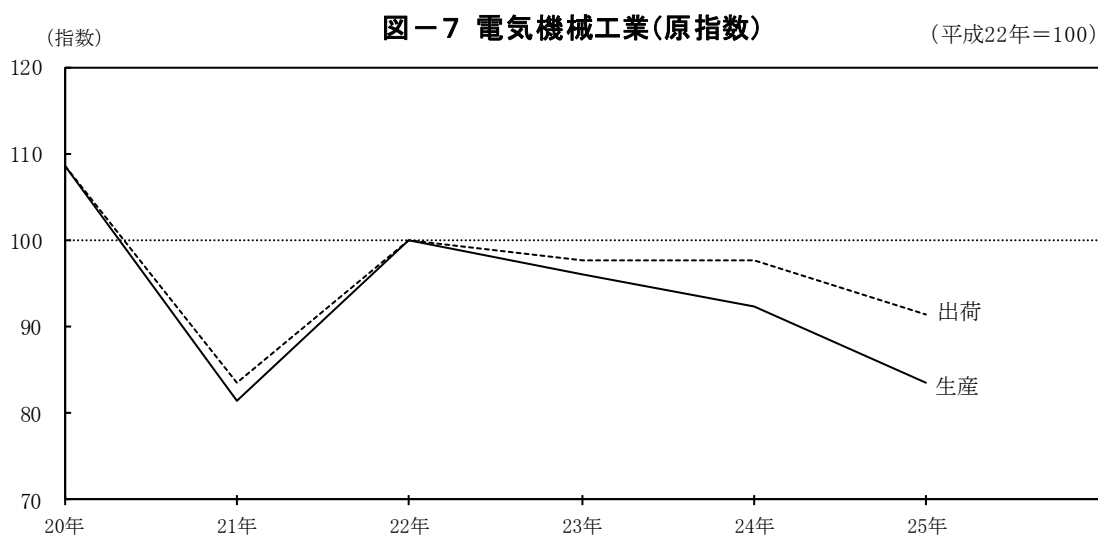
(図-6、表-1)



## (2) ーイ 電気機械工業

- ・生産指数は、換気扇、開閉制御装置等が増加したものの、電子回路基板、水車及びその他の交流発電機等が減少したため、前年比9.6%の低下となった。
- ・出荷指数は、電子回路基板、水車及びその他の交流発電機等が低下したため、前年比6.3%の低下となった。

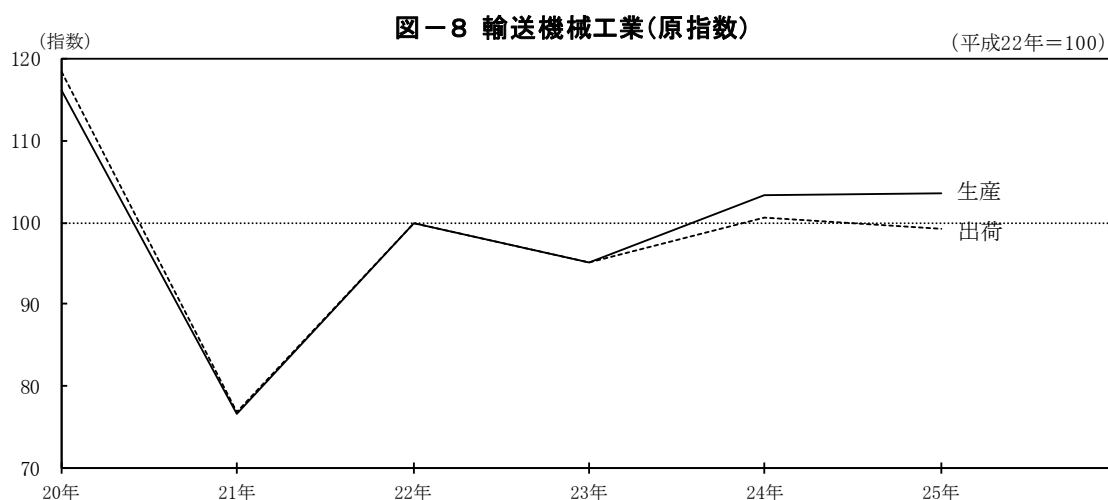
(図-7、表-1)



## (2) ーウ 輸送機械工業

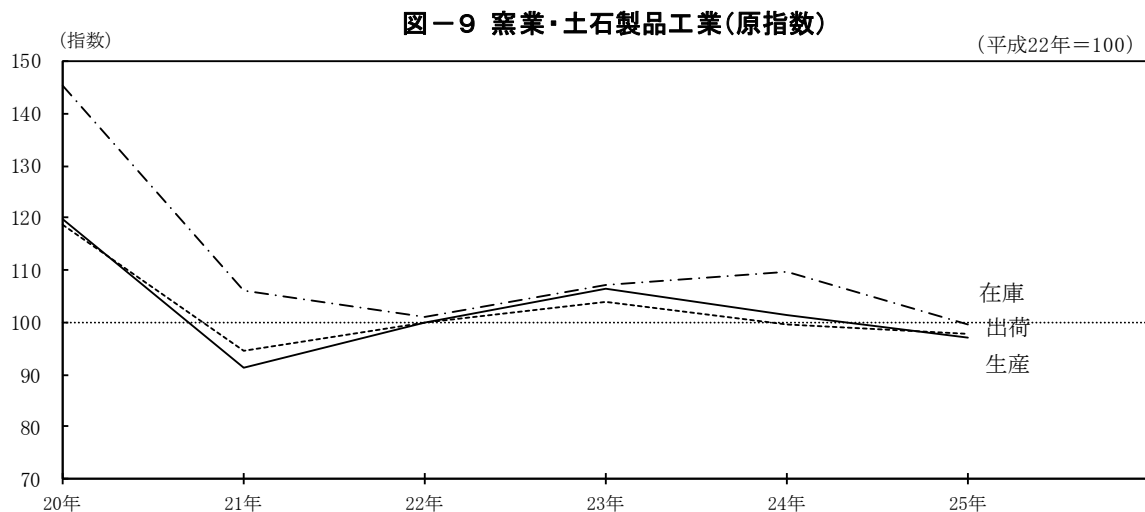
- ・生産指数は、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）、二輪自動車部品等が減少したものの、乗用車ボデー、手動式車いす等が増加したため、前年比0.3%の上昇となった。
- ・出荷指数は、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）、二輪自動車部品等が低下したため、前年比1.4%の低下となった。

(図-8、表-1)



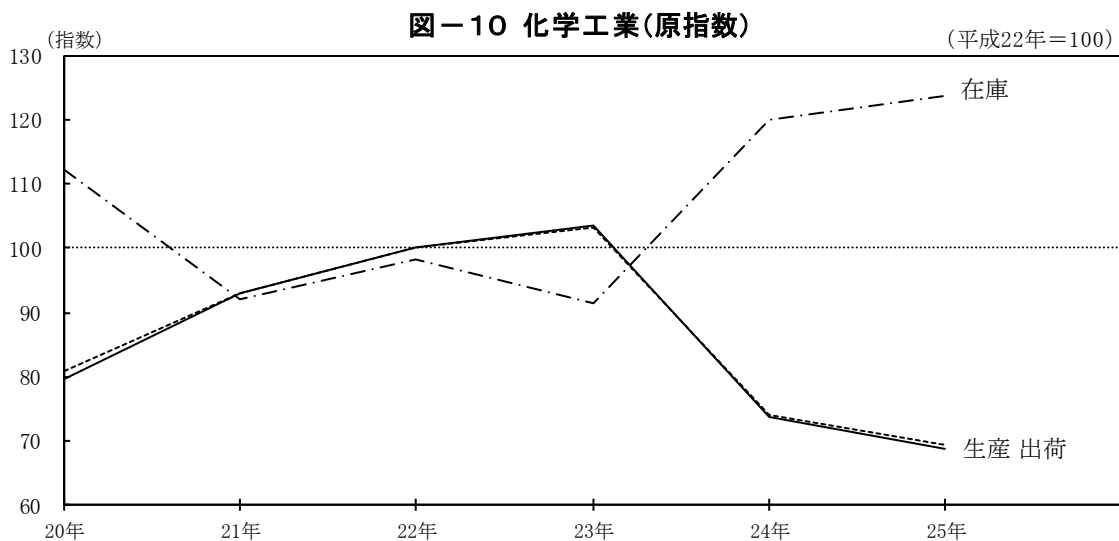
### (3) 窯業・土石製品工業

- ・生産指数は、耐火れんが（不定形耐火物を除く）、研削砥石等が増加したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、前年比4.3%の低下となった。
  - ・出荷指数は、触媒担体・セラミックフィルタ、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、前年比1.6%の低下となった。
  - ・在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ、道路用コンクリート製品等が低下したため、前年比8.9%の低下となった。
- (図-9、表-1)



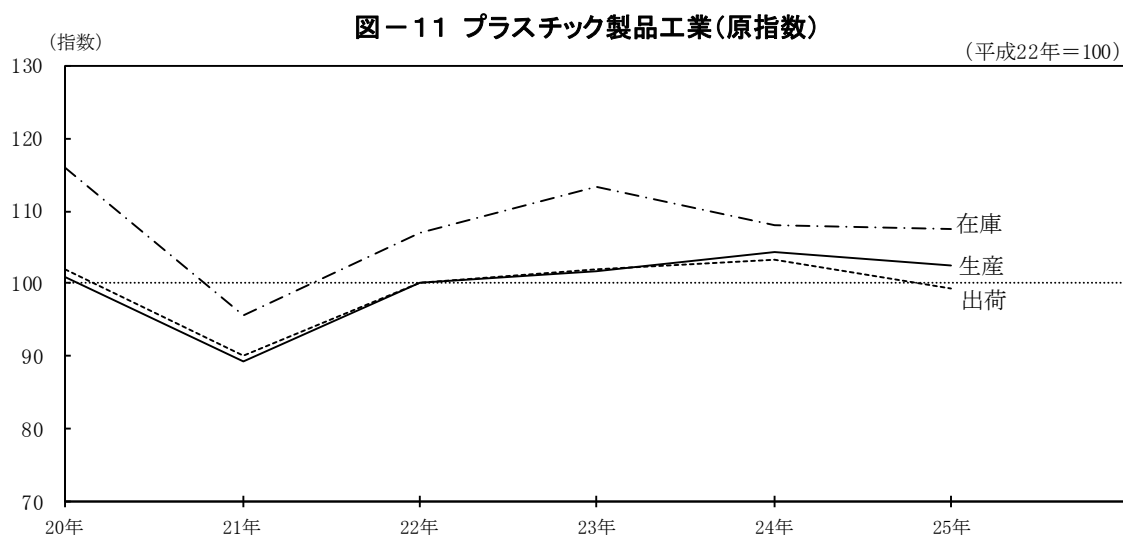
### (4) 化学工業

- ・生産指数は、活性炭、メラミン樹脂が増加したものの、医薬品、触媒（自動車排気ガス浄化用）が減少したため、前年比6.7%の低下となった。
  - ・出荷指数は、医薬品、触媒（自動車排気ガス浄化用）が減少したため、前年比6.4%の低下となった。
  - ・在庫指数は、触媒（自動車排気ガス浄化用）、メラミン樹脂が増加したため、前年比3.2%の上昇となった。
- (図-10、表-1)



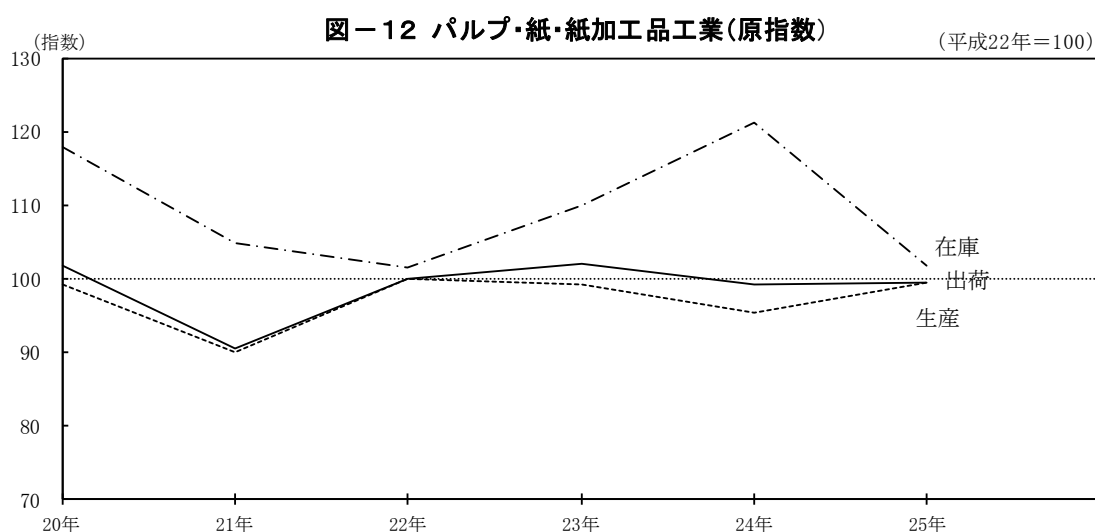
## (5) プラスチック製品工業

- ・生産指数は、プラスチック製継手、パイプ等が増加したものの、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器等が減少したため、前年比1.8%の低下となった。
  - ・出荷指数は、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム等が減少したため、前年比3.9%の低下となった。
  - ・在庫指数は、プラスチック製シート、ホース（プラスチック製）が減少したため、前年比0.5%の低下となった。
- (図-11、表-1)



## (6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・生産指数は、雑種紙、段ボール等が低下したものの、製紙パルプ、特殊印刷用紙等が増加したため、前年比0.2%の上昇となった。
  - ・出荷指数は、製紙パルプ、包装用紙等が増加したため、前年比4.5%の上昇となった。
  - ・在庫指数は、雑種紙、製紙パルプ等が減少したため、前年比16.0%の低下となった。
- (図-12、表-1)



## (7) 繊維工業

- ・生産指数は、敷物タフテッドカーペット、合成繊維織物染色整理等が低下したものの、織物製外衣、不織布等が上昇したため、前年比2.2%の上昇となった。
- ・出荷指数は、不織布、織物製外衣等が増加したため、前年比1.9%の上昇となった。
- ・在庫指数は、毛織物、ポリエステル短繊維等が減少したため、前年比0.1%の低下となった。

(図-13、表-1)

